

内閣府の実施する 原子力防災研修について

平成27年9月28日
内閣府原子力防災担当

1. 研修の実施概要
2. 原子力防災基礎研修について
3. バス等運転業務者研修について
4. 受講者の意見
5. まとめ

1. 研修の実施概要

- ◆ 内閣府で実施する原子力防災研修の目的は、原子力災害時に実際に防災業務に当たる自治体職員やバス事業者等に対して、原子力防災に係る基礎知識・能力の向上を図り、防災業務が円滑に進むようにすること。
- ◆ 平成27年度における研修の体系及びそれぞれの目的、対象者等は以下のとおり。
- ◆ 本日は、基礎教育(原子力防災基礎研修、バス等運転業務者研修)について説明する。

	基礎研修		応用研修
目的	放射線の基礎、放射線測定器の取扱いなど原子力災害特有の基礎知識の習得		自治体職員、実動機関等の災害対策要員として原子力災害対応業務能力及び必要となる運用知識・能力又は専門知識・能力の習得
研修名	原子力防災基礎研修 [2日コース]	バス等運転業務者研修 [半日コース]	災害対策要員研修及び本部図上演習 [3日コース]
対象者	<u>原子力施設立地道府県等の自治体職員等</u> (※)。 定員は60名/回。 (※)道府県・市町村職員、警察・消防・海上保安部署等関係者。	<u>原子力災害時に住民避難等の支援活動を行う民間の指定公共機関の職員</u> (※)。 定員は30名/回。 (※)バス事業者、船舶事業者等	オフサイトセンター、県・市町村の災害対策本部参集要員等。 定員は100名/回。
実施数	20地域で23回実施予定。	14地域で23回実施予定。	6地域で6回実施予定。
予算	約1.18億円	約0.51億円	約1.18億円

2. 原子力防災基礎研修について

・原子力施設立地道府県等の自治体職員等を対象とする「原子力防災基礎研修」の標準カリキュラムは以下の通り。(平成27年度は20地域で23回実施予定)

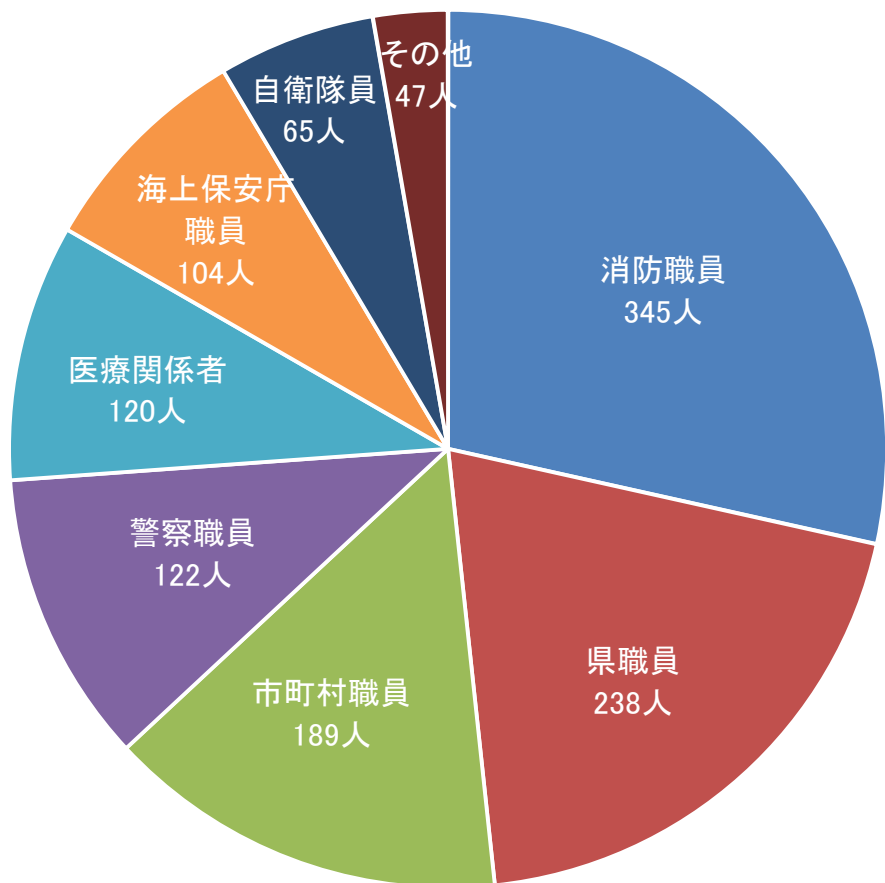
■1日目カリキュラム				
時間		テーマ	内容	
時刻	分			
9:30	～ 9:40	10	開講挨拶	開講挨拶・事務連絡
9:40	～ 9:50	10	イントロダクション	研修の目的・カリキュラムの説明 原子力発電の概要 原子力災害の特殊性・原子力防災の目的
9:50	～ 10:45	55	放射線と放射能の基礎知識	放射線の種類、特徴、単位 放射線の人体への影響 自然放射線の人工放射線
10:45	～ 10:55	10		
10:55	～ 11:55	60	放射線被ばく防護の考え方	放射線被ばくの形態、被ばくの防ぎ方 放射性物質による汚染、放射線測定器の種類
11:55	～ 12:00	5	質疑応答	
12:00	～ 13:00	60		
13:00	～ 15:30	150	放射線測定器等の取扱実習	放射線測定器の操作方法等についての実習 防護服等の着脱方法についての実習 簡易除染の方法についての実習
15:30	～ 15:55	25	防災の基本	防災とは何か、想定外にはどのように対応すべきかなどについて過去の事例も交えて学習する。
15:55	～ 16:05	10	全体質疑・アンケート	ここまでの復習・質疑応答
16:05	～ 16:15	10	閉講	

■2日目カリキュラム				
時間		テーマ	内容	
時刻	分			
9:30	～ 9:35	5	事務連絡	事務連絡
9:35	～ 10:15	40	福島原発事故の概要と教訓	福島第一原子力発電所の事故対応の概要 災害対応に関する課題と教訓
10:15	～ 11:00	45	原子力防災対策の基本的考え	福島原発事故の教訓を踏まえた防護措置の考え方 防護措置に関する意思決定の流れの概要
11:00	～ 11:10	10		
11:10	～ 12:00	50	防護措置の基礎知識その1	防護措置の主要活動 住民避難、災害時要援護者等の避難 安定ヨウ素剤予防服用 飲食物摂取制限、スクリーニング 住民への情報提供
12:00	～ 13:00	60		
13:00	～ 13:20	20	防護措置の基礎知識その2	午前中の続き
13:20	～ 13:30	10		
13:30	～ 13:40	10		
13:40	～ 15:50	130	防護措置に関するディスカッション・意見交換会	これまでに学習した知識に関する課題検討
15:50	～ 16:00	10	全体質疑・アンケート	
16:00	～ 16:10	10	閉講	

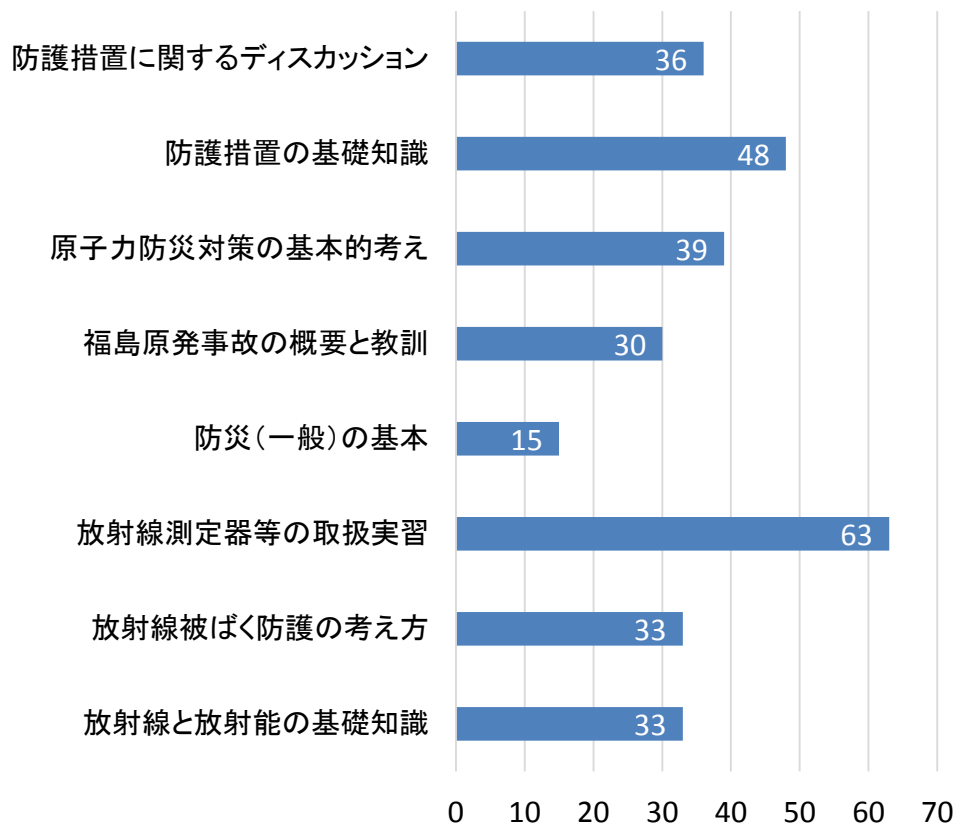
2. 原子力防災基礎研修について

- ◆ 本年度既に実施済の18回分を分析した結果、のべ1,230名が研修に参加。消防職員が約30%、自治体職員が約35%を占めた。
- ◆ アンケートを実施した結果、「放射線測定器等の取扱実習」や「防護措置の基礎知識」といった実践的な能力・知識の定着につながる研修の評価が高かった。

機関別参加者数



役立つ研修
(3項目選択:合計300%)



3. バス等運転業務者研修について

・原子力災害時に住民避難等の支援活動を行う民間の指定公共機関の職員を対象とする「バス等運転業務者研修」の標準カリキュラムは以下の通り。(平成27年度は14地域で23回実施予定)

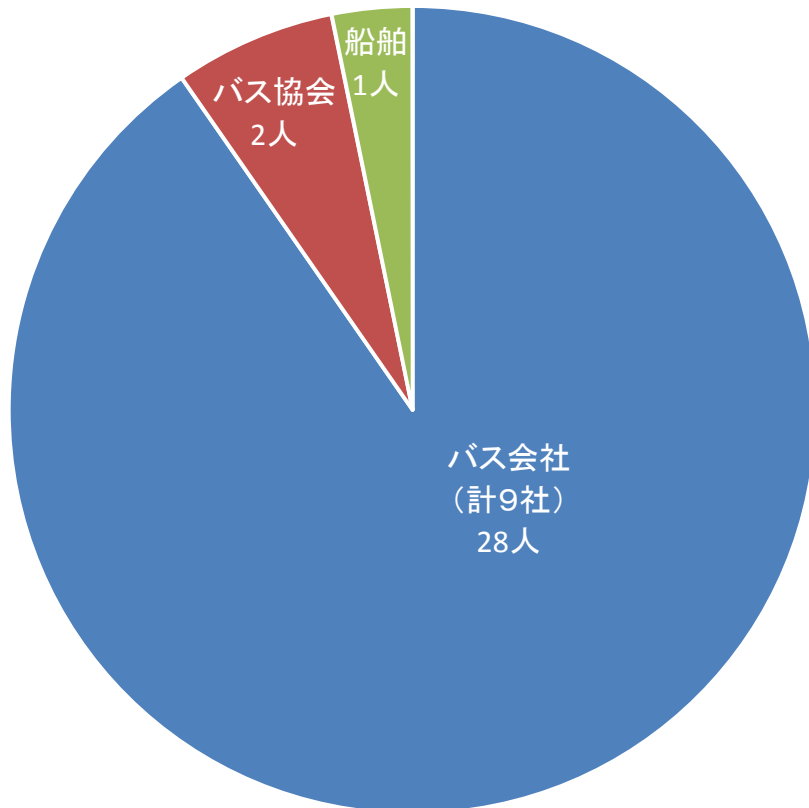
■カリキュラム

時間		カリキュラム番号	区分	テーマ	内容
時刻	分				
9:30	～ 9:35	5	合同	開講挨拶	開講挨拶、研修のねらい説明
9:35	～ 10:55	80	合同講義	放射線防護のために必要な基礎知識	放射線防護のために必要な基礎知識。 <ul style="list-style-type: none"> 放射線と放射能 被ばく形態 身の回りの放射線 放射線の人体への影響 放射性物質、放射線の放出形態及び被ばくの経路 被ばくの防護 被ばく線量の測定 放射線被ばくの管理
					休憩（10分程度）
		2	合同講義	原子力災害対策指針の概要及び住民防護活動の流れと防護処置	原子力災害対策指針の基礎及び住民防護活動の流れを理解する。 <ul style="list-style-type: none"> 新しい防護対策の考え方 住民防護活動の流れと防護処置
10:55	～ 11:05	10		休憩	
11:05	～ 11:50	45	実習及び演習	放射線等測定器の取扱、保護具の着脱等	<ul style="list-style-type: none"> 個人測定器の取り扱い実習 身のまわりの回りの放射性物質の確認実習 距離による減衰、遮へい効果の確認実習及び実演 防保護具の装着及び脱衣実演
11:50	～ 12:00	10	合同	閉講挨拶等	質疑応答、閉講挨拶及びアンケート回収

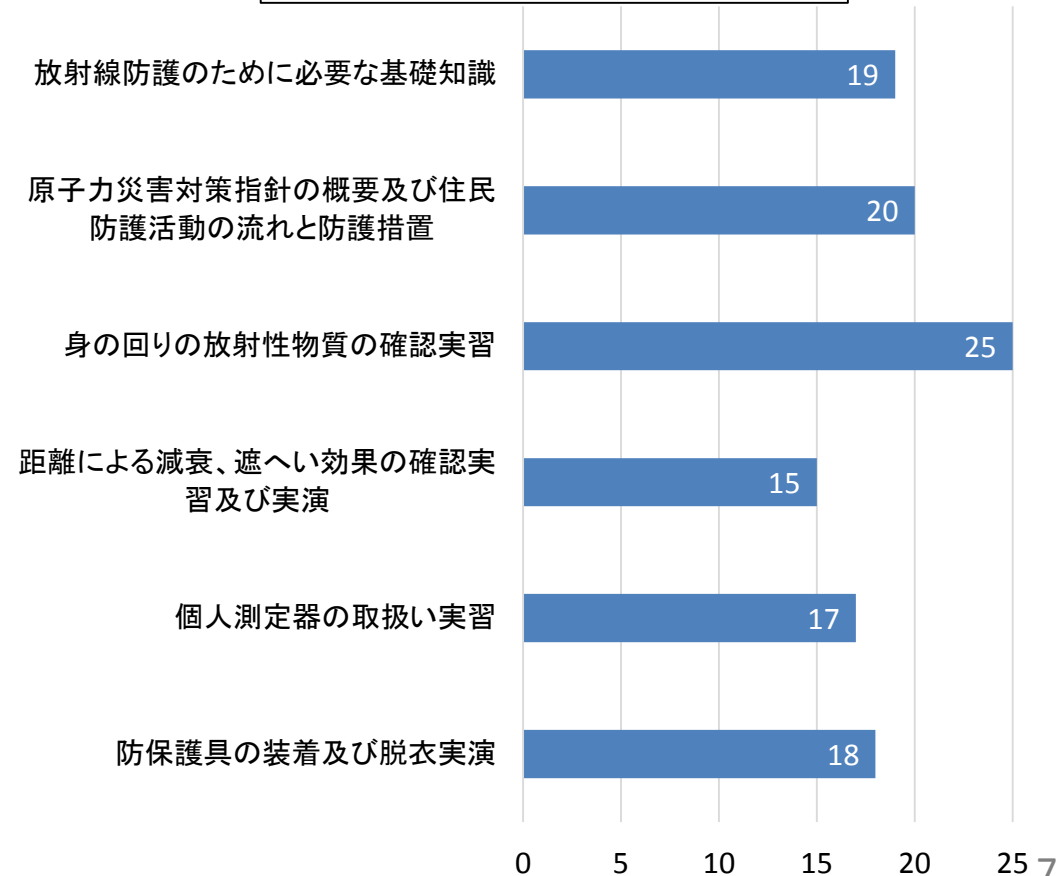
3. バス等運転業務者研修について

- ◆ 本年度既に実施済の1回分を分析した結果、のべ31名が研修に参加。バス関連の職員が9割以上を占め、その他(船舶等事業者)は1名のみの参加となった。
- ◆ アンケートを実施した結果、「放射性物質の確認実習」や「原災指針の概要、放射線防護の基礎知識」といった実践的な能力・知識の定着につながる研修の評価が高かった。

機関別参加者数



役立つ研修
(3項目選択: 合計300%)



4. 受講者の意見

- ◆ 研修参加者の主な意見は以下のとおり。
- ◆ 「各地域に特化した内容の研修」「受講できる機会(対象者、実施回数)の拡大」「実習やディスカッションを中心とした研修」を希望する声が多かった。
- ◆ 資料については、基礎知識を向上させるための内容が望まれている。

(参加対象)

- ・県庁全職員向けに開催して欲しい。
- ・国(国交省、経産省等)の地方局職員も参加すべき。
- ・自助、共助を促進する上でも、避難対象となる住民についてもかなりの知識が必要となる。国又は自治体による住民向け勉強会の開催が必要ではないか。
- ・これまで関係機関が一堂に集まる機会が無かったので非常に良かった。
- ・他機関の方との意見交換の場をもっと設定して欲しい。
- ・関係機関との連携や住民とのコミュニケーションの大切さが分かった。

(実習や演習)

- ・実習やディスカッションの時間が確保されており有意義。
- ・実際に測定器による測定や、防護服の着用ができ、大変身になって有益だった。
- ・現地での対応方法(乗務員がバスから出てきて良いか、車内清掃はどうするか)が良く分かった。
- ・(全国一律のカリキュラムではなく)地元原発立地周辺地域の特性を踏まえて欲しい。
- ・避難に関する具体的なケーススタディの演習の実施を研修して欲しい。
- ・地域防災計画への市町村の地域特性への反映を意見交換して欲しい。

(資料)

- ・初めて聞く内容は1回では理解できないため、より初心者向けのものを用意して欲しい。図解も分かりやすい。
- ・判断基準値などの参考資料をより充実させて欲しい。

5. まとめ

1. 参加対象について

- ・関係機関同士のコミュニケーション向上のため、多くの組織や関係機関が参加することが重要。
- ・特にバス等運転業務者研修については、バス事業者以外の緊急時対応に従事する民間事業者等についても参加を拡大することが必要。

2. 実習や演習の在り方について

- ・座学に加えて、実際に測定器で測定したり、防護服を着用する実習は有益。
- ・ディスカッション等、関係機関同士の連携を深める内容を盛り込むことも重要。

3. 資料内容について

- ・資料については、各地域の特性を反映したり、各防災業務従事者の業務の実態に即したものとすることにより、理解がより深まる。